



# 高すぎる国保料 減額への取組を

●12月議会で、「国保料が高すぎ」で払えなくなり、滞納している方に対する「財産差し押さえ」が増えている実態を取り上げ質問しました。国保加入世帯の平均所得は、低賃金

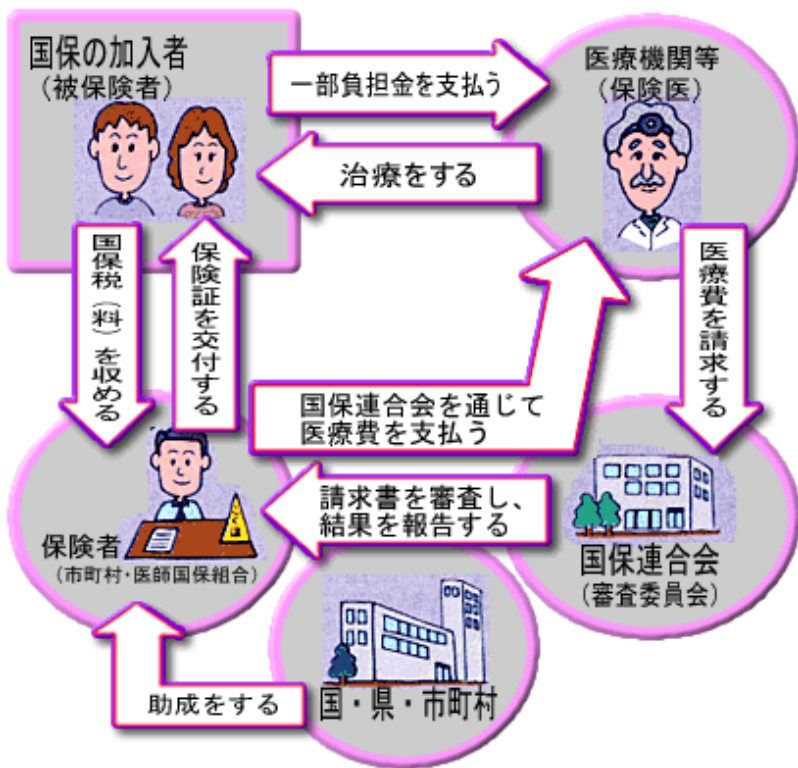
で不安定な非正規労働者の増加や無職者が増えたことによりピーク時の277万円から142万円と半分になっています。しかし、従前と同様に公費負担率が半分のままであることが高額になる一要因です。「実態に合った国費＝公費投入をしなければ国保制度は崩壊する、抜本的国費投入の強化を」とただしました。

## 知事「構造的問題ある 国費投入必要」認める

●答弁に立った知事も、加入者の職業構成変化

による構造的問題があること、特に高知県は無職の割合がほぼ半数で「一人あたりの平均所得は55万4千円、全国平均83万円と比べても極めて低く、一方で医療水準が高いため、保険料負担割合が13.5%と全国平均9.9%と比べて非常に高い」「今以上の国費投入を」と答弁し国の責任を認めました。

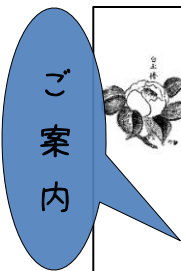
無法な差し押さえをただすべきとの質問には「機械的な運用はしていないはず」と健康政策部長が答えました。



1月25日、円行寺口駅南の吉良・秦事務所でお餅つきを行いました。宝町から移転して初めてのお餅つきでした。おでん、おぜんざい、つきたてのお餅などお買いものと交流など、終日たくさんの方の笑顔で賑わいました。



恒例となったもちつき大会



みんなで学ぼう2.14 講演学習会 県民のつどい  
こんなに変わる「医療・介護」

講師 篠崎 次男 さん (日本高齢者運動連絡会顧問)

とき 2月14日(土) 13時30分～16時  
ところ 高知県人権啓発センター 6階大ホール